

第6回全国温泉地サミット&第3回チーム新・湯治全国大会 ～温泉地と地域の課題を解決する～

これまで温泉地の活性化等をテーマに5回の全国温泉地サミットを開催してきました。第6回目となる全国温泉地サミットを開催するとともに、第3回チーム新・湯治全国大会を開催し、「温泉地と地域の課題を解決する」をテーマに有識者によるディスカッションを無料ライブ中継いたします。なお、第3回チーム新・湯治全国大会ではWeb上で交流会を実施いたします。こちらは事前申し込み制となっておりますのでお申込みの上ご参加ください。

2021年10月8日(金) 13:00～16:30

YouTubeによる無料ライブ配信



【環境省温泉地保護利用推進室公式YouTubeチャンネル】

ライブ配信ページはこちら

<https://youtu.be/dHofiH3Fld0>



第1部 第6回全国温泉地サミット

13:00～ 開会挨拶

13:05～ 第40回温泉関係功労者 表彰式

13:10～ ディスカッション「温泉地と地域の課題を解決する」

阿部 公和 湯野浜100年株式会社 取締役
株式会社亀や 代表取締役

(株)亀や代表取締役、湯野浜温泉旅館協同組合理事、湯野浜温泉源泉(有)常務取締役、湯野浜源泉設備保有株式会社常務取締役、湯野浜100年株式会社取締役

内田 彩 東洋大学 准教授

立教大学大学院観光学研究科博士課程修了。博士(観光学)。専門は観光歴史学、温泉論。研究テーマは温泉地の形成と発展、滞在型観光。

里見 喜生 いわき湯本温泉 創業元祿八年
古滝屋 16代目

1968年生。地の恵み、生きとし生けるものに感謝。3.11メモリアルネットワーク理事。Fスタディツアーと称し災害地域のガイドを務める。

長野 恭紘 別府市長

1975年生まれ。2015年別府市長に初当選。「やりすぎくらいがちょうどいい」を合言葉に、市民とともに、心を一つにまちづくりに奔走中。

泉 英明 有限会社ハートビートプラン 代表

公共空間のプレイスメイキング、水辺空間の再生、長門湯本温泉の温泉地再生などに関わる。まちづくりの「まち医者」としての関わりを目指す。

北橋 義明 環境省自然環境局自然環境整備課
温泉地保護利用推進室長

平成10年環境庁入庁。霞ヶ関勤務の他、箱根・十和田湖・熊本・日光等で国立公園管理に携わる中で、各地の温泉も満喫。本年7月より現職。

ファシリテーター

下村 彰男 國學院大学 教授

中環審・温泉小委員会委員長。「新・湯治」を提言した「自然等の地域資源を活かした温泉地の活性化に関する有識者会議」にて座長を務める。

森田 創 東急株式会社 MaaS戦略担当課長/作家

1999年、入社。「東急シアターオーブ」開業責任者や広報課長を経て、3年前より現職。ノンフィクション作家としても活動。最新作に『MaaS戦記』（2020年講談社刊）。

(50音順・敬称略)

14:30～ 閉会挨拶

第2部 第3回チーム新・湯治全国大会及び交流会

14 : 45～ 開会挨拶

14 : 50～ チーム新・湯治 活動状況報告（環境省等）

15 : 00～ 新・湯治 効果測定プロジェクト



早坂 信哉 一般財団法人日本健康開発財団温泉医科学研究所 所長
東京都市大学 教授

自治医科大学医学部卒、同大学院修了、博士（医学）、温泉療法専門医、
日本温泉気候物理医学会理事。近著「入浴は究極の疲労回復術」

15 : 10～ チーム員活動事例紹介

事例 ①

菅野 静 湯治ぐらし 代表

別府鉄輪温泉に移住して、湯治シェアハウス「湯治ぐらし」3軒経営。
「みんなの炊事場」・「みんなの保健室」等も手掛ける。温泉入浴指導員。

事例 ②

坂本 剛宏 三島信用金庫 融資部 調査役

2002.4三島信用金庫入庫
2019.4～2020.9株式会社 地域経済活性化支援機構（REVIC）出向
帰任後、ファンド運営、債権管理業務、観光業・持続可能なまちづくり

事例 ③

斉藤 雅樹 東海大学 海洋学部海洋文明学科 教授

温泉の魅力をどう活かし表現するかを探求する。新・湯治をはじめ、Yu-navi、
湯雨竹、温泉道、温泉カルテ等、研究開発と社会実装で温泉に恩返し中。

事例 ④

東原 好克 株式会社バスクリン バスライフ推進部長

山口県出身 1985年(株)津村順天堂(現ツムラ)入社
福岡営業所長、ガ・ルクマーケティング 部長を歴任後現職
温泉・入浴・入浴剤の文化啓蒙活動に従事



竹内 貴祐 乳頭温泉組合 組合長

1985年休暇村陸中宮古入社。那須や岩手網張など温
泉地の休暇村を転勤し、2015年休暇村乳頭温泉郷に
着任。同年乳頭温泉組合長就任。

(敬称略)

15 : 50～ 閉会挨拶

(YouTube配信終了)

16 : 00～ チーム新・湯治交流会 (事前申込者のみZOOMでのご参加)

テーマ1 : 「温泉地での新しい事業の創出に向けて必要なこと」

テーマ2 : 「健康を軸とした温泉地の活性化に向けて必要なこと」

テーマ3 : 「温泉地でのぞろぞろ歩き・街歩きに向けて必要なこと」

テーマ4 : 「温泉地でのワーケーションを充実させるために必要なこと」

チーム新・湯治意見交流会へ
参加申込される方はこちらから

<http://www.env.go.jp/press/109941.html>

申込締切日 : 令和3年9月27日 (月)

